

【第16回公開シンポジウム開催案内・参加募集】

日本工学会 技術倫理協議会 第16回公開シンポジウム

＜不確実性の時代における技術者の役割と倫理＞

日時：2020年12月7日（月）13:00～16:30

形式：オンライン（Zoom ウェビナー）

開催趣旨：

人類が環境、人口、エネルギー、経済格差などの重大問題に直面するなか、新型コロナウイルスの感染拡大は、人間社会の脆弱さをあからさまにし、未来の不確実性を高めた。世界は大きく変わり、政治・経済の体制の変革だけではなく、都市のあり方、移動、コミュニケーション、働き方、など個人と集団に新しい生活様式が求められている。

COVID-19 だけでなく、今後発生しうる未知の問題群と向き合いながら、人類はどのような未来を築いていくべきなのか。新しい時代を拓くなかで技術者はどのような役割を果たすべきなのだろうか。

新しい時代を担う技術者はどのような能力・態度・資質を持つ必要があるのだろうか。

今回のシンポジウムでは、このような問題意識に基づき、ポスト／ウイズコロナの世界を構築する上で、科学技術者が果たすべき役割について、会員学協会の立場から検討する。

主催：公益社団法人日本工学会 技術倫理協議会

【協議会会員】公正研究推進協会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学教育協会、日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会

定員：定員枠は設定しません。

参加費：無料

参加申込方法：

Web申込：日本工学会HP (URL:[Http://www.jfes.or.jp/](http://www.jfes.or.jp/))のトップ頁から参加申込をお願いします。(該当開催案内をクリックすると申込Formの画面になります。)

申込み後、電子メールアドレスに ZoomウェビナーのURL及びパスコードを返信します。電子メールアドレスは申込みの必須記載事項になります。

当日の講演資料：

各講師の資料が整った時点で日本工学会の上記申込みサイトに掲載しますので、参加者各位は、ご自分でダウンロードして下さい。

問合せ先：（公社）日本工学会事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階

E-mail:eng@jfes.or.jp、 Tel:03-6265-0672

（リモートワーク実施中につき、お問合せはメールでお願いします。）

【第16回公開シンポジウム開催案内・参加募集】

日本工学会 技術倫理協議会 第16回公開シンポジウム

日時：2020年12月7日（月）13:00～16:30

形式：オンライン（Zoom ウェビナー）

プログラム：

＜不確実性の時代における技術者の役割と倫理＞

開始時間 ～ 終了時間	演題	登壇者
13:00～13:05	開会挨拶	札野 順 技術倫理協議会 議長 （(公社)日本工学教育協会）
13:05～13:45	【講演1】 仮題：志高い技術者の 不確実性下における責任	伊勢田哲治氏 京都大学大学院 文学研究科 准教授
13:45～14:25	【講演2】 仮題：新規科学技術と ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)	小林 傳司氏 科学技術振興機構上席フェロ ー・大阪大学名誉教授
14:25～15:05	【講演3】 仮題： 新型コロナウイルスの最新の エビデンスとその“伝え方” ＜効果的な科学コミュニケーションのあり方とは＞	木下 喬弘氏 医師・公衆衛生学修士 (MPH)
15:05～15:15	休憩	
15:15～16:30	パネルディスカッション	パネリスト：伊勢田哲治氏、小林 傳司氏、 木下 喬弘氏 コーディネーター：札野 順 （早稲田大学 大学総合研究センター 教授）

※恒例の「意見交換会・交流会」は実施致しません。

■プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。